

令和元年度 定例会の報告

1. はじめに

北方海域技術研究委員会では、2019年(令和元年)10月10日(木)に留萌市にて北海道開発局留萌開発建設部の後援を頂き、令和元年度定例会を開催しました。

会場は留萌開発建設部会議室で、今回は46名(うち日本技術士会会員：9名)の参加を得て、当会の山口幹事の司会により進められました。

2. 講演会

講演会では、地方開催として留萌地域の活性化や管内の日本海沿岸での水産資源の安定供給に向けた取り組みについてご講演いただきました。

○日 時：令和元年 10月10日(木)

14:30～17:00

○講演プログラム

開会挨拶：北方海域技術研究委員会

代 表 寺島 貴志

講演1：「生産空間の維持・発展に向けた
留萌地域の取り組みについて」

北海道開発局 留萌開発建設部

次 長 飯田 誠 氏

講演2：「ナマコ資源活性化プラットフォームの
取り組みについて」

北海道開発局 留萌開発建設部 留萌港湾事務所

第2工務課 課 長 中島 秀行 氏

講演3：「日本海でのホタテ養殖と問題点」

留萌振興局 留萌地区水産技術普及指導所

留萌南部支所 支所長 富安 俊 氏

閉会挨拶：北方海域技術研究委員会

副代表 渥美 洋一

(1) 講演1「生産空間の維持・発展に向けた留萌地域の取り組みについて」

ご講演にあたり、冒頭で北海道総合開発計画について述べられました。そこで開発計画を推進するための取り組みとして、「食」と「観光」を戦略的産業として位置づけ、これからの北海道が戦略的産業を基に観光先進国、食料供給基地となるため、それを支える生産空間として、地域構造や人材、国土づくり等の施策について説明されました。



写真-1 講演を行う飯田誠講師

次に留萌管内の概要を述べられ、管内における北海道総合開発計画の取り組みについて説明されました。管内は8つの自治体で南北に長く、人口は毎年10%程度減少しており高齢化も進んでいる。漁業・農業の一次産業が盛んであるが、十分な流通・消費が不十分である。また、観光については夏季シーズンの海水浴客が主である。

このような背景から、生産空間を維持するためには、安心して居住できる生活交通と物流ネットワークが重要であり、高規格道路も含めた道路整備、スタンプラリーやご当地キャラ等、さまざまなイベン

トを企画していることを説明されました。

最後に留萌管内における観光パンフレットの紹介を行い、食と観光についてPRされ、ご講演を閉められました。

質疑応答では、留萌管内における今後の情報発信について質疑が熱心に行われました。

(2) 講演2「ナマコ資源活性化プラットフォームの取り組みについて」

中国の高級食材として用いられ、生産額が上位であるナマコ資源の活性化を図るため、自治体や官・学が連携して研究・開発を進めるため、「ナマコ資源活性化プラットフォーム」を留萌管内で設立し、その取り組みについてご講演されました。

ナマコ資源増大に向けた取組として増毛地区、留萌地区、苫前地区での活動を説明されました。増毛地区では継続し安定した漁獲量を確保するため、種苗生産放流と追跡調査、漁業者自ら生産技術指導を受けて経営安定を図り、後継者の確保と育成を行っています。留萌地区では東海大学と連携して放流用囲い礁の活用、苫前地区では稚ナマコの生育実態調査から生存率や成長率を評価し、中間育成による最適な期間と経費の試算など、管内全体での活性化について説明されました。

最後に今後の活動として、これまで行ってきた取り組みから課題と検討すべき事項を説明されご講演を閉められました。

質疑応答では、管内の他の地域の動向や事業の運営について、質疑が熱心に行われました。



写真-2 講演を行う中島秀行講師

(3) 講演3「日本海でのホタテ養殖と問題点」

北海道は日本一のホタテ水揚げ量を誇り、その多くはオホーツク海で水揚げされている。このホタテは留萌管内で種苗生産された稚貝であり、管内での稚貝の育成、出荷までの取り組みや課題についてご講演されました。

講演は、まずホタテに関する知識、種苗から出荷までの年間サイクル、生育別の出荷先、採苗器や中間育成の籠等について説明されました。

稚貝の育成は採苗時期に稚貝の幼生を獲り、中間育成により育ててから出荷しますが、水産技術普及指導所では採水による幼生の発育状況から種苗日時の伝達を漁業者に行う等、種苗から育成段階まで漁業者との連携を説明されました。

最後にホタテ養殖における実際の作業環境や従事者の状況から労働力不足が課題であり、今後は個人経営ではなく協業化による経営を説明され、ご講演を閉められました。

質疑応答では、噴火湾のホタテの大量へい死に関する調査・見解など、質疑が熱心に行われました。



写真-3 講演を行う富安俊講師

3. おわりに

今年度の定例会も、例年どおり盛大に開催することができました。各講演では留萌管内の地域活性化の取り組みや水産業の養殖技術についての知見を深めることができました。

最後にお忙しい中、快くご講演をお引き受け頂いた各講師と開催にご協力を頂いた北海道開発局留萌開発建設部の皆さまに心からお礼申し上げます。